

## 2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [ Sherry 英語教室 ] 担当教諭名 [ 塩飽 隆子 ] ( 高校 1・2年 7名 )  
 交流相手国 [ 台湾 ]  
 海外学校名 [ National Fenhsin Senior High School ] 担当教諭名 [ Jocelyn Chang ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	英語	国際理解: ~日本の美しさを世界に伝えよう~ ~アジアに友だちを作ろう~	15
	課外	絵で日本の美しさを表現しよう	5

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	ASIAN BEAUTY
絵に込めたメッセージ	「アジアの美」 日本と台湾が同じアジアの国として自分たちの国を見つめ、自然の美しさ、伝統の美しさ、人のつながりの美しさを絵に表した。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
フォーラムを使って様々な視点で自分たちの思いを相手に伝えることで、自文化理解・異文化理解を深め、英語によるコミュニケーション力を高めることができた。その結果として相互理解が深まった。一番の成果は、相手の想いを尊重し、自分の想いを相手にしっかり伝えることが、よりよい成果を生むことを学んだこと。	テレビ会議は相手との距離感を縮め、親しみの度合いを深め、相手と友達になったという実感を強める。3学期に相手の休みが多く、時間調整ができなくてテレビ会議を一度しかできなかったことが悔やまれる。早くからテレビ会議をスケジュールに組み込むべきだった。

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
調べ学習の様子、テレビ会議の様子、絵を描いている様子など活動全体を通して他の学年の生徒たちにも紹介した。台湾では展示しているところを大きく新聞に取り上げられた。	他の学年の生徒たちも大変関心を示し、交流の成り行きや絵の制作を楽しみに見ている。 生徒から話を聞いて保護者も大変喜び、来年もアートマイルをして欲しいと要望があった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介では自分らしさをしっかり伝えようと、夏休みにそれぞれが印象に残ったことをフォーラムに書いた。</li> <li>自分のふるさとを見つめ直して日本の美を考えようと町自慢を書いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こちらが夏休みの思い出を書くと相手も同様に書いてくれた。相手の興味関心や生活感が感じられ、早くから相手を友達として感じられたようだ。</li> <li>日本の美って何かと意識できた。</li> </ul>	英語
情報収集	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵のテーマは「アジアの美」と最初に話し合いで決めていたので、情報収集というよりは、まずは「日本の美とは何だろう」と一人一人が考えた。自分の考えを英語で伝えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>抽象的な「美」というイメージをどう切り口で捕らえるのか、それぞれのイメージを出し合っていくうちに自然と集約されていった。自分の思いを持つこと・自分の意見を人に伝えることに慣れていった。</li> </ul>	英語
テーマ検討	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビ会議でお互いの理解をさらに深めた。絵のテーマ・構図・下絵の確認をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビ会議はそれまでフォーラムでやり取りを積み重ねていただけに大変盛り上がり、大満足だった。</li> </ul>	英語
制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>週末に集まって絵を描いた。絵を描いている様子をフォーラムにアップして制作状況を共有した。</li> <li>相手が描く時に、相手の下絵について意見や希望を伝えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「美しい絵にしたい」というモチベーションが高かった。色のグラデーションに苦労していたが、満足の仕上がりになった。相手の最初の下絵案を見た時に生徒たちは「調和していない」と感じた。それ素直に相手に伝えたら、次には調和して一体感がある案を出してくれた。生徒は想いをきちんと相手に伝えることの意味を知った。</li> </ul>	課外活動
鑑賞	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞後、絵の感想をフォーラムで相手に伝えた。・交流全体を振り返り、自分にとっての意味を考えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒は日本に作品が戻ってきてからもう一度テレビ会議をしたいと言ったが、時間調整ができず実現しなかったのは残念。</li> </ul>	英語

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	2	⑤・4・3・2・1	台湾に日本の美の何を伝えるのか、世界にアジアの美をどう伝えるのかという視点で日本の良さを考えていた。
異文化の理解	1	⑤・4・3・2・1	台湾は身近なようで実は何も知らなかった。今台湾で暮らしている友達のことを知ることで理解が深まった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	3	⑤・4・3・2・1	フォーラムで英語によるコミュニケーション力がついた。テレビ会議でもうまくコミュニケーションがとれていた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	5	5・④・3・2・1	今回は情報収集にポイントを置いていなかった。地域のことを相手に伝える情報発信は十分できていた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	4	5・④・3・2・1	意思疎通を十分に図ることでクラス内でも相手とも信頼関係を作ることができた。
協働する力 (役割分担・協力)		⑤・4・3・2・1	意思疎通を十分に図ることで全活動を通して協働することができた。
学習を追究する意欲		⑤・4・3・2・1	意思疎通を十分に図ることで全ての段階で意欲が高かった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		⑤・4・3・2・1	同じアジアでも台湾との一番の違いは日本には四季があること。日本の四季の美しさを十分に表現できた。
作品を鑑賞する力		⑤・4・3・2・1	最後の鑑賞は感動的であった。その調和した美しさに魅了された。